

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年11月11日（水）

2 確認箇所

純水タンク脇炉注水ポンプ及び純水タンク（1号機タービン建屋北側）

3 確認項目

純水タンク脇炉注水ポンプ等の状況

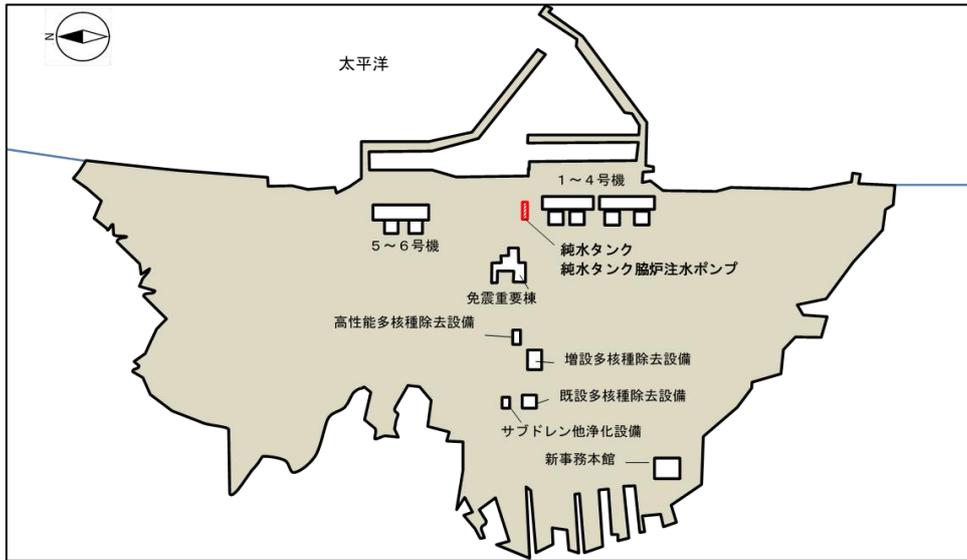
4 確認結果の概要

原子炉圧力容器・格納容器注水設備（以下、「原子炉注水系」という。）は、ストロンチウム処理水（建屋に滞留した汚染水から油分、塩分及びセシウムとストロンチウムを除去した水）及びろ過水（坂下ダムの淡水をろ過した水）を水源とし、電動機駆動の注水ポンプにて建屋内の既設配管を介して原子炉への注水を行い、燃料の崩壊熱を除去している。原子炉注水系の常用系注水ポンプは、事務本館海側駐車場に設置された常用高台炉注水ポンプ、タービン建屋内に設置されたタービン建屋内炉注水ポンプ及びCST（復水貯蔵タンク）炉注水ポンプで構成されており、予備として、所内電源系統から独立した専用のディーゼル発電機から受電する非常用高台炉注水ポンプ及び所内電源と専用のディーゼル発電機の双方からの受電が可能な純水タンク脇炉注水ポンプが設置されている。

今回は、原子炉注水系の予備注水ポンプの一つである純水タンク脇炉注水ポンプとその水源になっている純水タンクの現況を確認した。（図1）

- ・3台のポンプユニットが、純水タンク（2基）の北東脇に配備されたトラックの荷台上に、H鋼の架台にボルトで固定されて設置されていた。配管の保温材表面に一部ひび割れがあるものの、ポンプには著しい錆の発生は見られなかった。（写真1）
- ・ポンプユニットの電源盤は、ポンプユニットが設置されているトラックに隣接して配備されているトラックの荷台上に、ポンプユニットと同様にH鋼の架台にボルトで固定されて設置されていた。（写真2）
- ・純水タンク廻りの配管や弁に錆の発生が見られたが、確認した範囲ではタンクや配管からの漏えいは見られなかった。（写真3）
- ・なお、純水タンク脇炉注水ポンプユニット及び純水タンクは、今年度整備された千島海溝津波対策防潮堤の内側（西側）に設置されている。

（写真1、写真4）



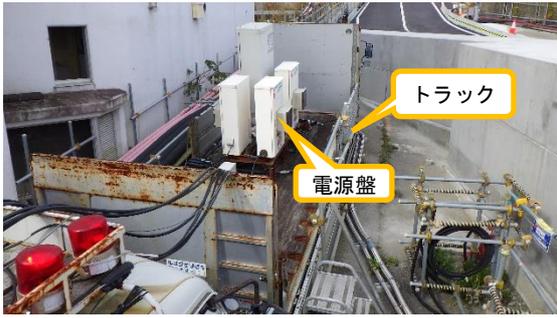
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
純水タンク脇炉注水ポンプユニットの状況① (南側から撮影)



(写真1-2)
純水タンク脇炉注水ポンプユニットの状況② (南側から撮影)



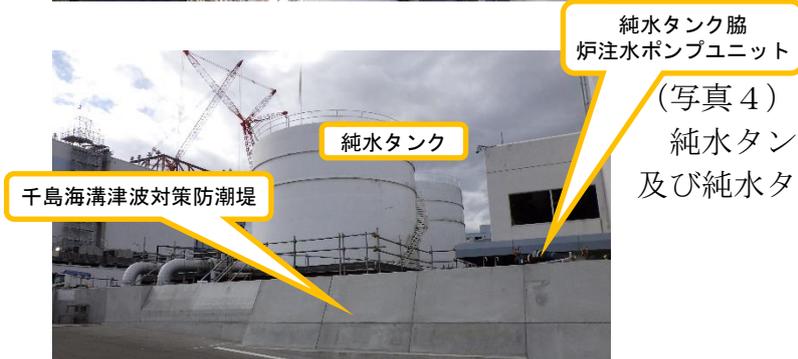
(写真2)
純水タンク脇炉注水ポンプ電源盤の
状況 (南側から撮影)



(写真3-1)
純水タンクの状況
(南側から撮影)



(写真3-2)
No.1 純水タンクの出口弁等の状況



(写真4)
純水タンク脇炉注水ポンプユニット
及び純水タンクの設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。